



『ふろじえくとえん』のみなさん

認定内容

未就学児を対象として、岩美町の豊かな自然環境(ジオパーク)を生かした自然遊び体験を行い、子どもの豊かな感性と創造性・主体性を育む中で、町内外の子育て世代の親に岩美町のすばらしいところを知ってもらい親子で訪れてもらうきっかけをつくる。



『白地川ホテルの会』のみなさん

認定内容

昔のように蛍がいっぱい飛び交う白地川に再生することを目的として、ゲンジ蛍の養殖と放流活動を行い、これらの活動を通して、白地集落の活性化を図るとともに、岩美町の魅力を全県・全国へ発信し、地域振興に貢献していく。

わがまちづくり 交付金 交付団体決定!!

地域や団体の方々の自由な発想で取り組むまちづくりを応援する「岩美町わがまちづくり交付金」の交付認定団体が決定しました。

制度を創設して今年度で9年目となり、多くの熱意ある皆様から申請をいただき17団体の活動をお手伝いさせていただきました。

今年度は5月8日に3団体が審査会に臨み、地域の活性化に向けて創造性あるまちづくり構想を10分間のプレゼンテーションで熱く語り、審査員による厳正な審査の結果2団体が交付団体に選ばれました。

まちづくりの原動力は町民のみなさんです。新たなまちづくりに期待しています!



棚田で 田植え体験

日本の棚田百選の一つである「岩美町横尾の棚田」で農業体験をする棚田オーナー制度。今年は、5月20日(日)にオーナーさん、ボランティア、地元の方、総勢約70名で農業体験が行われました。

当日は天候にも恵まれ、爽やかな青空の下、田植えが行われました。田んぼに入るとひんやり気持ちよく、どろんこになりながら一生懸命植えられました。



日本の棚田百選の一つである「岩美町横尾の棚田」で農業体験



作業終了後、地元の方たちによって屋食がふるまわれました。

子どもたちも教わりながら一生懸命がんばりました。



『岩美がつながる放談会』の紹介

5月10日(木)に岩美町中央公民館で、第1回『岩美がつながる放談会』が開催されました。この放談会は、参加者が郷土愛を共有し、自由闊達な意見交換を行いながら、岩美町が住みよい、活気のある、そして人口が増えるまち等を築いていくことを目的としており、現在は会員数が15名であります。放談会のテーマは岩美町に関するものであれば、何でも取り上げることにしています。

今回は、第9次岩美町総合計画の将来像のキーワードである『つながる』について考えることとし、『岩美がつながるには?』をテーマとして意見交換しました。「人・心・地域のつながりが大切。つながりを形成・発展する核になる人材の養成、確保も大切。関連する事例の紹介。」等々、出席者全員が各人の思いを述べ、議論をし、2時間の開催時間では足りないくらいでした。

第2回放談会は「防災」をテーマとして、7月12日(木)午後7時から9時に岩美町中央公民館で開催します。会費は無料で、誰でも出席し、意見を述べ、会員になることもできます。8月以降の定例会は9月13日、11月8日の午後7時から9時に中央公民館で開催する予定としています。どうぞお気軽にご参加し、放談してください。

なお、詳細につきましては「岩美がつながる放談会 会長 山本達雄 Tel72-0456」までお問い合わせください。